

ちよだの声

ニュース

No.6

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1 千代田区役所7階 ちよだの声
TEL 03-3264-2111(代表) FAX 03-3237-9805
090-5506-1516(小枝) 070-2654-3920(はまもり)

この議会報告は、公選法に基づき有権者名簿を閲覧して送らせていただきました。



今の区政にはビジョンと透明性が必要！

2024年9・10月開催の本会議および決算委員会で、明らかにしました。

区民が住み続けられるための

ビジョン(中長期計画)がない！

- 10年先の想定人口・指標がない。
- 現職区長は区政史上初めて**10年計画を作らなかつた**。<図表1>
- 住宅計画は4年間で**停滞した**。<図表2>
・特に中堅所得者向け支援が約1/3の支出に。
<図表3>

ちよだの声の提案

- 想定人口 / 指標を設定する。
- 10年計画を作成し**全体ビジョンを共有**する。
- 公共住宅の**拡充、支援強化**。

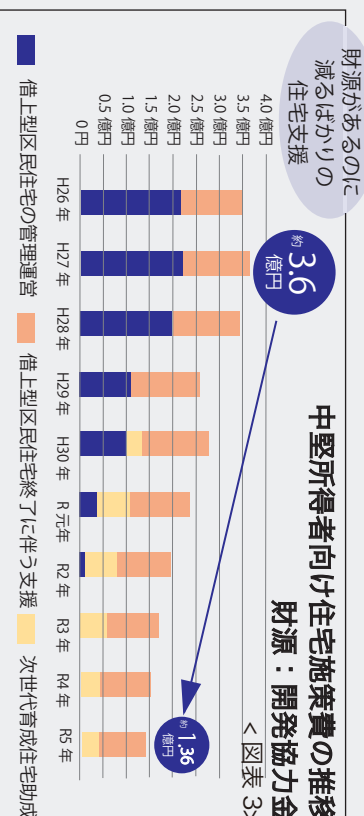


地価・賃料の高い千代田区では住宅支援がとても重要！このままでは千代田区から出て行かざるを得ない。



歴代区長が作った基本計画 <図表1>

2023年6月の住宅抽選倍率 <図表2>
区営住宅 [低所得者向け] **97倍**
区民住宅 [中堅所得者向け] **151倍**
10年以上待っている区民も！



区政のあり方も不祥事の対応も

透明・公正でない！

- 官製談合事件**の調査で区は**第三者委員会**を設置しなかつた。
・事件に関与した職員が調査委員会のメンバーだった。<図表4>
- 委託業務の成果物が知らない間に**内部資料に変更**されていた。
・『街路樹育成管理方針』⇒『街路樹管理育成検討業務』に。
令和4年度に約440万円かけた成果物が指摘するまで出てこなかつた。
- 協議会資料がホームページから消されていた。
・附属機関における委員の女性割合の資料が**削除**。
※昨年本会議の「ちよだの声代表質問」において、割合が低いことを指摘していました。
- 区長の考えがわからない・伝わらない！
・定例記者会見は1回/年のみ、動画配信なし。<図表5>

ちよだの声の提案

- 次に不祥事があつた際は中立的立場の**第三者委員会**を設置する。
- 成果物を変更する場合は議会に**事前説明**をする。
- ホームページの情報を削除する**基準**を作る。
- 出張区長室**や定例会ごとの記者会見を開催する。



区はこちらを採用すべきだった！

有識者会議と第三者委員会はまるで違う <図表4>
第三者委員会 <区が採用>
有識者会議

目的	第三者委員会	有識者会議
特定の問題の 調査 や 検証 を行い、改善策を提言する。	外部の専門家や関係者に 中立的な立場の第三者	関係分野の専門家や学識経験者
独立性	高い(関係者とは 独立した立場 で活動)	必ずしも完全に独立していない場合がある
主な設置例	企業不祥事、 行政の不正 、事故・災害調査など	政策、施策の策定や見直しなど

定例記者会見の実施回数 <図表5>

回数	区名
12回	北区
10回	世田谷区
9回	品川区
8回	港区、江東区、中野区、豊島区
4回	新宿区、杉並区、足立区、葛飾区、江戸川区
3回	大田区、板橋区
2回	墨田区、渋谷区
1回	千代田区 、中央区、文京区、台東区、目黒区、練馬区
0回	荒川区

千代田区は**1回のみ**！
(7割の区は2回以上実施)

千代田区民の懸案：3件の再開発問題アップデート



1 【神田警察通り】

住民が代替案をつくりました

神田警察通りの周辺に住む住民が、慶応義塾大学准教授・建築家のホルム・アルマザン氏に代替案の作成を依頼しました。区は「イチョウを残したままでは、2.0m の道幅が確保できないため、整備できない」と説明していましたが、実際には、イチョウを残したまま整備できるプランが出てきたことに大きな意味があります。(図1・図2)

●代替案のポイント●

- ・歩行者通行と自転車通行の『共有空間』とする。(6.0m)
- ・植樹帯やガードレールを取り、ベンチを置く。
- ・安全のために必要な場合は、ポラード(車止め)を設置する。
- ・イチョウを残したまま、陽光桜や季節ごとの花を植えることで、歩行者が一年中楽しめる道となる。

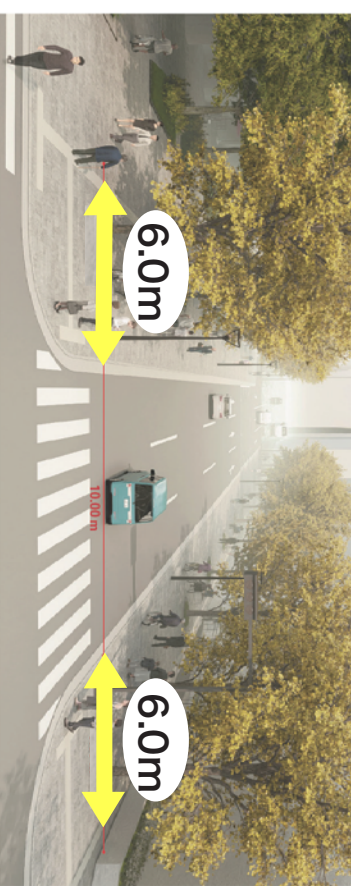


図1 歩行者 / 自転車通行の共有空間 6.0m 採用例



図2 共有空間にイチョウや桜、ベンチを置いた例

世界の潮流も同じ。

シンクタンク「ゼロ・バリュサーチ」によると、ニューヨーク 5 番街 5th Avenue 改善計画で、車道を 5 車線から 3 車線に減らし、歩道を 50% 拡張、街路樹や街灯、フランチー、ベンチを増やすなどして、快適な道にする計画があるそうだ。上質な公共空間を増やすことは**商業的メリット**があり、地価や税収が増え、5 年で元が取れるとのこと。

2 【外神田一丁目】 事業の見通しに暗雲

10/15 環境まちづくり委員会で、地権者合意率は約 60% と組合設立に必要な 2/3 に程遠いことがわかりました。事業費は **854 億円**、**80 億円** 以上の税金投入予定が、建築費の高騰で増額する懸念があります。

「中野サンプラザ」跡地再開発が計画見直し！

外神田一丁目再開発と同じ事業者である野村不動産が **施工認可申請の取り下げ**を行ったことがわかった。
建設費の高騰が理由で、総事業費は 2639 億円の予定から 900 億円超の増額に。



外神田一丁目再開発	2023年	2024年	ちよだの声の立場
これまででの経緯	7月	2月 3月 26 6 11 14	再外神田一丁目 反対開発 議論 QRコード
都市計画審議会			賛成 8人 反対 7人
環境まちづくり委員会			賛成 4人 反対 2人
千代田区議会 本会議			賛成 19人 反対 4人

● 開催日

日テシ再開発	2024年	可決された附帯決議
これまででの経緯	3月 6月 7月 26 11 1 5 8 10	事業の具体化にあたり、地域の豊和に向けて、事業者・関係住民・関係機関が努力すること。地区計画は決定した高さや容積率を上限。ゆとりある設計を協議すること。
都市計画審議会		附帯決議付き 賛成 13人 反対 5人
環境まちづくり委員会		4日間・40時間超の議論 賛成 4人 反対 2人
千代田区議会 本会議		賛成 19人 反対 4人

● 開催日

3 【二番町】『前向きに話し合える場』その後

11/5 区報で告知

10/25 都市計画審議会で、『前向きに話し合える場』の検討状況について、下記の通り報告がありました。

- 名称： 番町次世代シンポジウム
- 目的： 相互理解、信頼関係構築の第一歩 基本計画（日テシ）への反映を打診
- 参加者： 区内に在住・在勤・在学の方（30名）
- 時期： 令和7年1月に開催
- 形式： 数人ずつのグループに分かれ、地域への思いやアイデアを出し合う。

3/26 の附帯決議に基づくと、これとは別に、事業者・関係住民・関係機関の**誰もが参加できる説明会**も必要！
→ちよだの声は求めていきます。

ちよだの声は、まだ関係者との話し合いを実施しておらず、周辺環境への影響調査も不十分なことから反対。

式「投」 字幕付き動画

ちよだの声の掘りかき

前明石市長 泉房穂

千代田区議会議員 小枝すみ子/はまもりかおり

9/19 泉房穂さんにご講演頂きました！

動画はこちら

ちよだの声 YouTube

千代田区議会 ちよだの声 動画ニュース

YouTubeリンク <https://www.youtube.com/@chiyodanokoe>

チャンネル登録 お願いします！

小枝すみ子 090-5506-1516 sumikokoeda@gmail.com

はまもりかおり 070-2654-3920 kaori.hamamori@gmail.com